

知らないほうが良かったかもしれない：

左 古 文 男 の

クセがつよい

よう

かい

てん

妖怪展

2020年

7月18日^{土曜日}～9月6日^{日曜日}

9:00～18:00 月曜休館
※祝休日の場合は開館

【会場】横山隆一記念まんが館企画展示室

【観覧料】一般 500円(400円)、中学生・高校生 200円(160円)

小学生以下無料

※()内は団体(20名以上)料金

※65歳以上の方及び身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保険

福祉手帳をお持ちの方とその介護者1名は半額料金

※企画展観覧者は、常設展示を200円で観覧できます

【主催】公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

【後援】高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、

エフエム高知、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局

【協力】(株)小学館、(株)双葉社、高知県立歴史民俗資料館、四万十漫画倶楽部

【お問い合わせ先】横山隆一記念まんが館

〒781-9529

高知市九反田2-1 高知市文化プラザかるぼーと内

☎088-883-5029 FAX 088-883-5049



横山隆一記念
まんが館
YOKOYAMA MEMORIAL MANGA MUSEUM

<http://www.kfca.jp/mangakan/>



「土佐お化け草紙(複製)」高知県立歴史民俗資料館蔵

クセが 妖怪よい

『クセがつよい妖怪事典』の
全原画80点を展示します。

妖怪は左古氏が「ユルい、クセがつよい、
ヤバい」をテーマに選んだ「クセ」がある妖怪たちです。
あなたのお気に入りの妖怪を見つけてください。



高知の妖怪

高知県に残されている沢山の妖怪伝承を、
歴史的資料やまんがで紹介しします。
江戸時代に描かれた全17体の
高知の妖怪などを収録した『土佐お化け草紙』を
高知県立歴史民俗資料館の協力を得て展示します。
また、幡多地域にまつわる
妖怪・怪異・あやかしの話、
四万十市で活動する四万十漫画倶楽部が手掛けている
「幡多妖怪地図」「幡多妖怪図録」で紹介しします。



イズコム

左古氏のまんが家としての仕事を紹介します。
『猫町の風待茶房』や
井上淳哉氏との共著『四万十怪奇譚』に収録されている
「四万十川の猿猴」などのまんが原稿、
安倍夜郎氏との共著『四万十食堂おかわり!』などで
描かれた似顔絵原稿を展示します。

世の中にはいろんな
妖怪がいるといわれています。
見たことがある、
こんな妖怪がいたら…など、
みんなて妖怪を描いて会場に飾ろう!

参加コーナー 妖怪掛所



左古文男の

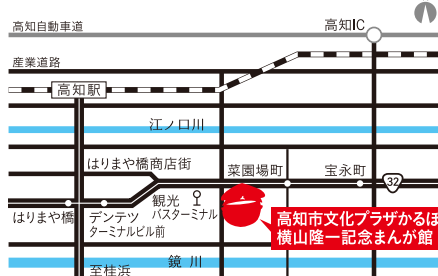
クセが 妖怪よい 展

左古文男

1960年高知県生まれ。文筆家、まんが家、編
集者、四万十市観光大使。
1986年『YOKOHAMA BAY CITY
BLUES』でまんが家としてデビュー。以後、
「COMIC ぱく」「週刊漫画アクション」などに
寄稿。89年に小説家に転向し、長編伝奇小
説『雨の異邦人』の連載を開始する。現在は
ルポルタージュやエッセイ、まんがなど幅広い
分野で執筆する傍ら、雑誌や書籍の企画・編
集も行っている。
主な著書に『坂本龍馬脱藩の道をゆく』『ゲゲ
ゲの旅』(ともに学研パブリッシング)などがある。
近著は『コケを見に行こう!』(技術評論社)、
『尾道、食べさんぽ。』(誠文堂新光社)、『四
万十食堂』『オアシス食堂』(ともに安倍夜郎
氏との共著・双葉社)。また、企画・編集作品
として水木しげる氏の最後のインタビューをま
とめた『ゲゲゲのゲート』(双葉新書)がある。



○徒歩で：はりまや橋から約5分○路面電車で：
はりまや橋下車徒歩5分、菜園場町下車徒歩約3
分○車で：高知駅より約5分、高知自動車道高知
ICより約10分○地下有料駐車場200台(30分ご
と150円)



その他イベントも随時開催予定!

イベントの詳細は、まんが館ホームページなどで随時お知らせいたします。